

研究紹介

健康・環境

健やかな体を育む

カリキュラムマネジメント

学校・家庭・地域・関係機関の連携による
子どもたちの「健やかな体」の育成

長門市立浅田小学校長

池本 順子



一 はじめに

長門市では、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくりを推進しており、市内六中学校区ごとの「みずゞ学園」では、九年間というスパンの中で、学校と家庭・地域が一体となって子どもを育てる取組を進めている。

長門支部ではこの取組を進める中で、子どもたちの「健やかな体」を育成するために、校内の健康教育の活性化と学校・家庭・地域・関係機関との連携に視点をあて、校長の役割と指導性について研究を進めてきた。

二 研究の実際

(一) 家庭との連携を図る「親子熟議」

共に考え、実践するための
学校保健安全委員会の取組
ア 子どもの実態の把握

- ① 健康診断の結果
- ② 運動能力・体力測定の結果
- ③ 生活習慣チェックの結果

イ 目標を共有する親子熟議

- ① 学校保健安全委員会で実施
 - ・生活習慣チェック結果共有
 - ・子どもの考えと保護者の願いの交流
- ② 親子や仲間と共有する目標
 - ・実態を踏まえ、焦点化された目標を皆で共有

ウ 親子熟議の成果と課題

- ① 子ども、保護者の主体的な参加
 - ・子どもの考えを取り入れた話し合い
 - ・保護者の参加が増加
- ② 親子交流による相互理解の深化
 - ・家庭との連携強化
- ③ 目標の設定だけでなく目標達成に向けての話し合いの実施が課題

エ 校長の役割

- ① リーダーシップと肯定的評価

価値

- ・各調査結果をもとに新たな取組を担当者とともに企画
 - ・担当者の積極的支援、評価
 - ② 取組の多面的な活用
 - ・各取組による学校教育目標の浸透
 - ・各取組による方向性の共有
- (二) 地域ぐるみで健康づくりを推進する「三隅みずゞ学園」

学校・家庭・地域・関係機関との連携による健康教育の取組
ア 組織づくりと連携をコーディネート

- ① 目的
 - ・健康な歯作りに向けて、幼小中十二年間の日常の取組の継続性
 - ・地域保健指導の推進向上
- ② 校長の役割
 - ・拡大保健安全委員会構想の実現
 - ・連携が生む取組の活性化

イ「三隅みずゞ学園保健安全委員会」における熟議

- ① 成長過程における歯の実態と課題
- ② 学校医、学校歯科医、保健師、関係機関、学校運営協議会委員、保護者とともに考える改善策

ウ 地域ぐるみで健康な歯作り

三 校長の役割

- ① 子どもが主体となった取組の発信と地域事業とのコラボ
 - ② 生涯にわたる健康な歯作り
- (二) 組織を動かす
- ア 課題意識をもとに戦略を立案
 - イ 明確な学校経営ビジョンの提示と組織的な取組の推進
 - ウ 指導の継続と徹底

(二) 連携をコーディネートする
ア 共通課題の設定と共通実践
イ 家庭・地域・関係機関と一体となった取組の推進

四 おわりに

二年間にわたる研究では、各校や各みずゞ学園の実態に合わせた様々な取組の工夫がみられた。今後も校長間の情報交換や連携を図りながら、長門支部の研修をさらに充実させていきたいと考えている。

